

免震重要棟の設置

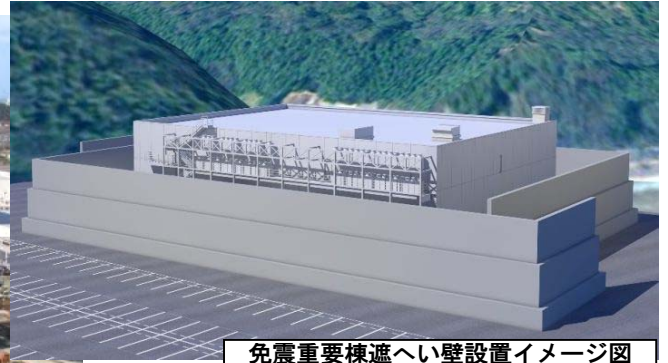
大規模地震等によって原子力発電所の事故が発生した場合の対応に、より万全を期すため、緊急時対策所機能を収容する免震構造の建物を発電所構内の高台に設置します。

〔平成26年度上期完了予定〕

- 万一、発電所から放射性物質が放出された際、地表汚染からの被ばくの低減を目的として、免震重要棟周辺に遮へい壁を設けることとしました。



免震重要棟本体工事の様子



免震重要棟遮へい壁設置イメージ図

フィルタ付ベント設備の設置

炉心が損傷した場合でも、原子炉格納容器の破損を防止するとともに、放射性物質の放出量を大幅に低減できるようにフィルタ付ベント設備を設置します。

〔平成26年度上期完了予定〕

☑ フィルタ付ベント設備の概略寸法

1. フィルタ付ベント設備本体の概略寸法・設置数
概略寸法：直径約2m、高さ約8m（円筒形）
設置数：4基（2号機）、5基（3号機）
2. フィルタ付ベント設備格納槽の概略寸法
幅約1.3m×長さ約2.5m×高さ約1.2m（2号機）
幅約1.3m×長さ約2.8m×高さ約1.4m（3号機）



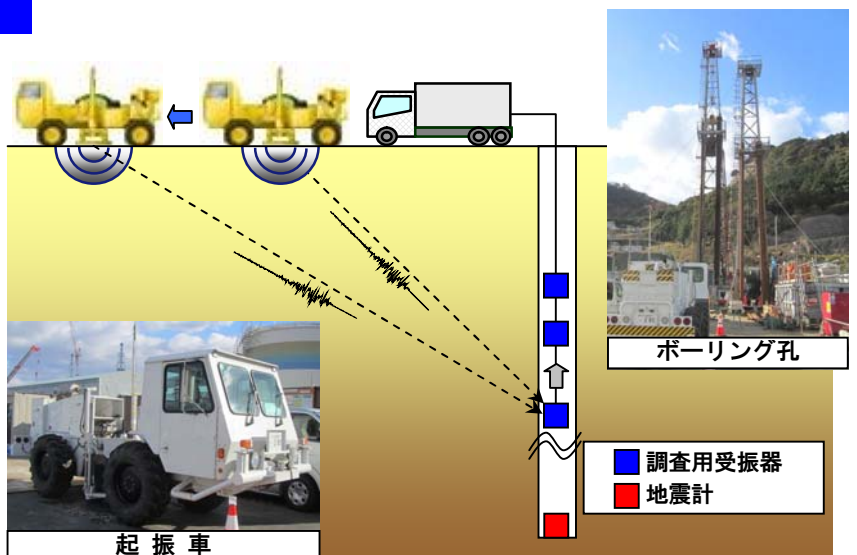
2号機フィルタ付ベント設備工事状況

三次元地下構造調査

データ拡充の観点から、深度1,000m超級のボーリングを実施し、発電所敷地内の地下構造調査および地下深部に地震計を設置して地震観測体制の拡充を図ります。

〔平成25年度完了予定〕

- 起振車およびボーリング孔を利用した地下構造調査を実施しています。



起振車

ボーリング孔

調査用受振器
地震計